

件名	第11回（平成29年度第1回）外傷等動向調査委員会
日時	平成29年4月21日（金）18時30分～19時28分
場所	市役所308会議室
出席者	<p>出席委員：足達 寿 委員 久留米大学 医学部教授（委員長）  浅倉 敏明 委員 久留米医師会 理事（副委員長）  橋本 俊之 委員 久留米広域消防本部 救急防災課長  内藤 美智子 委員 久留米市保健所長  井上 謙介 委員 久留米市協働推進部長</p> <p>欠席委員：山下 寿 委員 聖マリア病院 救命救急センター長</p> <p>事務局：佐藤課長、江原主幹、松本主査、末安（安全安心推進課）  吉田次長、西村補佐、中園（総務医薬課）</p> <p>対策委員会事務局：中井補佐（家庭子ども相談課）  平田課長、内田指導主事（学校教育課）  堤課長（長寿支援課）  竹村課長（男女平等政策課）、白谷所長（男女平等推進センター）  藤島課長（保健予防課）  大野課長（防災対策課）</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）第13回久留米市セーフコミュニティ推進協議会の結果報告について</li> <li>（2）平成29年度の主なスケジュールについて</li> <li>（3）平成29年度の認知度向上・取り組みの裾野拡大について</li> </ol> </li> <li>3. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）平成29年度ケガや事故の実態調査（仮称）について</li> <li>（2）事前指導のプレゼン資料（素案）について</li> </ol> </li> <li>4. その他</li> <li>5. 閉会</li> </ol>
〈議事概要〉	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から開会宣言</li> <li>・各委員自己紹介</li> <li>・正副委員長を選出  （事務局案により、委員長に足達委員、副委員長に浅倉委員が選出）</li> <li>・傍聴確認  （傍聴希望者なし）</li> </ul> </li> </ol>

## 2. 報告事項

### (1) 第13回久留米市セーフコミュニティ推進協議会の結果報告について

- ・事務局が資料に沿って報告

### (2) 平成29年度の主なスケジュールについて

- ・事務局が資料に沿って報告

(質疑応答)

委員長

- ・10月の22日から24日で、再認証の事前審査があるということだが、最初の認証の時にも、事前審査はあったのか？

事務局

- ・はい。本番と同じように、審査員を前にして回答していくことになる。

委員長

- ・定期的に更新する必要があるのか？

事務局

- ・5年ごとに更新する必要がある。

委員1

- ・事前審査の時にも、委員がそろう必要があるのか？

事務局

- ・外傷等動向調査委員会については、10月23日の10:00から、委員の皆さんに集まっておいて、委員長から説明していただくことになる。事務局もバックアップは行うが、審査員からの質疑応答には、委員の皆さんで回答していただくことになる。特に、最近は、委員長だけでなく、委員の方を指名して、質問されることもある。

委員2

- ・審査員はどのような方が来るのか？

事務局

- ・他の自治体の状況を見ていると、アジア系の方と、欧米系の方が1名ずつのようで、審査員としては2名。他に、通訳の方が1名。アジアと欧米では、取組み方が異なるところもあるので、どちらの審査員も入っているようだ。できるだけ、日本の自治体の状況がわかっている審査員をお願いしたいと思っている。

委員2

- ・外傷等動向調査委員会以外の委員会も、委員長が説明することになるのか？

事務局

- ・はい。前回も各委員長が説明している。

### (3) 平成29年度の認知度向上・取り組みの裾野拡大について

- ・事務局が資料に沿って報告

(質疑応答)

委員3

- ・再度、日程の確認だが10月23日の事前審査は、日にちは確定で、時間はまだわからないということか？

事務局

- ・日程については、審査員の都合もあり、現在のところまだ確定ではないが、市と

	<p>しては、この日で調整したいので、この日で考えてほしい。</p>
委員 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフコミュニティの日めくりカレンダーは、どのくらいの数を配布する予定なのか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在 1, 000 部、用意しており、主に推進協議会委員や対策委員、学校、コミセン、企業等に配布したいと思っている。委員の皆さんには各事務室、窓口などでの配布・掲示にご協力願いたい。</li> </ul>
	<p><b>3. 協議事項</b></p> <p><b>(1) 平成 29 年度ケガや事故の実態調査（仮称）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局が資料に沿って説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 実態調査の案について、意見等があれば、5月19日までに事務局まで連絡することを確認。</li> </ul> </li> </ul> <p>(質疑応答)</p>
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査の対象者が3つの区分に分かれているが、3, 500人の対象者の割合をどのように考えているのか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答の割合も考慮していくが、基本的には人口割でと考えている。</li> </ul>
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18歳以下、65歳以上というような区分だが、下限・上限も考えているか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問に対して有効な答えが欲しいので、そういうことも考えていく。</li> </ul>
委員 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい委員もいるので、リボン運動について改めて教えてほしい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みによっていろんな色のリボンがあるが、久留米市のセーフコミュニティとして取り組んでいるのは、児童虐待防止の啓発PRのオレンジリボン、自殺防止の啓発PRのグリーンリボン、男女平等で作っているDV防止啓発PRのパープルリボンの3種である。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の委員会でも、リボンの色が多すぎて良く分からないという意見があった。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査にあがっていない項目というのは対象となるのか、既存のものに対して、新たにこういう項目を加えたらどうかという意見が出たということか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査は質問項目が幅広く、質問数も限られてくるので、1つの質問に対して、細かいところまで掘り下げていくことができない。このことから、データとしては、実態調査としては不足してしまう。大きなところは市民意識調査の方で、実態調査は分析可能なところまで詰めるというような役割分担をさせ、なおかつ、取り組みに直結するような細かいところまで詰めることができるように棲</li> </ul>

	<p>み分けをしている。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査票の回収率は良いのか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回26年度の実態調査の回収率は56%、2,500人に出して1,400人の回答があった。ただ今回は、同じ質問を全員に送り、回答できる対象者がいない場合があった。例えば、高齢者に関する質問ならば高齢者がいる家庭に送らなければ意味がないということで、出来るだけ回答がきちんと返ってくるように、回答率が上がるように年齢層を区切り、質問も対象者がいるところへ送るといったような見直しを図っていく。</li> </ul>
委員1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セーフコミュニティについて、市全体として取り組むにあたり、校区単位や細かい単位で実施していくと地域に根付いていくのでは。例えば、交通安全・防犯・防災などの、各校区での取り組みの濃淡が分かるような調査をしてもいいのではないか？46校区あるので進んでいるところ進んでいないところを出すと、校区のカラーが出て、次のステップへと繋がるのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実態調査をするときに、特定の校区に限った調査などはせず、全市的に取っていくので、分布なども分かるようになる。また、この調査に限らず、他の調査でのデータも取っているので活用していこうと思っている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補足だが、各校区の会長が組織している校区まちづくり振興会でも、重点取り組み項目の中に、セーフコミュニティの推進を挙げてもらっている。事務局としても、それぞれの校区がどういう取り組みをしているのか、アンケート等で聞き取り、まとめたものを校区全体にフィードバックするなどして、PRに繋がるような取り組みを、今年度はしようと思っている。</li> </ul>
委員2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実態調査後の集計結果をもとに、どのような改善策、取り組みをしていくのが最も重要であると思うが、そういうことを話し合う機会はあるか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ データに基づく活動なので、調査結果は分析して、成果のひとつとして活用したい。その中で、結果が出ていない部分、課題が残る部分を洗い出しながら、各対策委員会にも分析結果を報告し、それに基づく取り組みを検討してもらいたい。</li> </ul>
	<p><b>(2) 事前指導のプレゼン資料（素案）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局が資料に沿って説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 事前指導のプレゼン資料について、意見等があれば、5月19日までに事務局まで連絡することを確認。</li> </ul> </li> </ul>
	<p>(質疑応答)</p>
委員2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救命救急センターというのは、マリアと大学だけか、古賀病院などは持っていない</li> </ul>

	<p>いのか？</p>
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急センターという名称はその2つだけ。</li> </ul>
委員 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けがや事故の実態調査などの分析は、27年度に実施したものか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度に実施した結果です。</li> </ul>
委員 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これについては、26年度の結果を基に、その後、取り組んでいるものが載っていた方が、取組みが進んでいるのが見えるのではないか。ストラップを作ったり、掲示板をたくさん出したり、毎月25日はセーフコミュニティの日として、全市を挙げてやっている等、いろいろ取り組んでいるということをもっとPRした方がいいのではないか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘の内容については、各対策委員会のプレゼン資料には出てくるが、外傷等動向調査委員会の資料にも、少し載せるようにしたい。</li> </ul>
委員 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に対して意見などがあれば、誰にどのような手段で伝えればいいのか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡をいただければ、直接行って、少しやり取りさせていただきたい。</li> </ul>
	<p><b>4. その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>
	<p><b>5. 閉会</b></p>